

東舞子

令和4年6月30日（7月号）
神戸市立東舞子小学校
令和4年度学校だより
<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

実体験を通して学ぶ

思いのほか梅雨が早く明けて、さらに暑くなりましたが、子供たちは晴れ間に運動場で遊べる機会を心待ちにしているようです。保護者のみなさまには、先日ご依頼した「水泳学習見守りボランティア」にご協力いただきありがとうございます。子供たちが水の中でがんばる様子を近くで見させていただきながら、安全な学習環境づくりに参画していただけて、大変ありがたく感じています。

学校で行う水泳では、水の中でしか味わえない感覚を体験するという目的もあります。「浮く」感覚です。水泳の授業のあと、2年生が作文に「わたしのからだがかるくなりました」と書いていました。これは、とても素敵な発見です。「浮力」をこのように実感し、それを「楽しい」と思える体験ができたのは、うれしい限りです。

また、先日は5年生が電車に乗って、校外学習に出かけました。漁業や海の環境について、目の前で漁業に携わる方のお話をうかがうことで、海を守るために、森や川を大切にすることが重要だということを学びました。貝を触ったり、間近に魚を見たりすることで、普段の学習以上に、実感を伴った学びになりました。依然としてコロナ禍にあり、まだまだ学習に制限が伴う現状ではありますが、このような実体験を伴った学習の機会を大切にしたいと改めて思いました。

学校には、様々な実体験がちりばめられています。そこにこそ、学校で学ぶことの意味があるのだと思います。



学校ホームページに学校の様子を掲載しています。
ご覧いただけると嬉しいです。



[神戸市立東舞子小学校・トップページ](http://www.kobe-c.ed.jp)
([kobe-c.ed.jp](http://www.kobe-c.ed.jp))